

報道関係各位

女子ラグビーチーム「YOKOHAMA TKM」とウィルチェアーラグビーチーム「横濱義塾」
ダイバーシティ推進活動における提携について

拝啓 初冬の候 貴社ますますご発展のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なるご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、2014年12月16日障害者スポーツ文化センター横浜ラポールのメインアリーナにおいて、神奈川県横浜市に活動拠点を置く女子ラグビーチーム「YOKOHAMA TKM」(横浜市戸塚区)とウィルチェアーラグビーチーム「横濱義塾」(横浜市港北区)は、スポーツを通して障害者への理解を深め、心のバリアフリーの促進を図ると同時に、多様な個性を尊重し、価値を見いだせる人づくり、地域づくり、社会づくりを目指したダイバーシティ推進活動のパートナーシップを結びました。

本活動は2016年のリオデジャネイロ及び2020年の東京オリンピック・パラリンピック出場を目指す両チームの選手たちが、ウィルチェアーラグビーの練習を通して相互に理解を深めることから始め、来年度は小・中学生を対象に「YOKOHAMA TKM」&「横濱義塾」のスポーツ教室を開催したいと考えております。

子どもたちに実際に車椅子競技を体験してもらうことによって、障害者への理解を図ると同時に多様な個性を認め合う社会を共に築いていこうというメッセージを送りたいと考えております。

スポーツマンシップの根幹は多様性を受け入れ尊重することにあります。

両チームはスポーツ先進都市横浜から、スポーツマンシップを発信してまいります。

報道関係の皆様のご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

<ダイバーシティ推進活動 次回の活動日>

日 時:2015年1月6日(火) 19:30~21:00

場 所:障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール 1F メインアリーナ

〒222-0035 神奈川県横浜市港北区鳥山町 1752

<http://www.yokohama-rf.jp/rapport/>

参加者:「横濱義塾」とボランティアスタッフ、「YOKOHAMA TKM」の選手とコーチングスタッフ

活動報告:両チームのホームページ及びブログ、フェイスブック、ツイッター等。

取材をご希望される場合は YOKOHAMA TKM ダイバーシティ推進活動事務局の野毛伸子まで 12月29日までにメールにてお知らせいただければ幸いです。



<横濱義塾 プロフィール>

名称: ウィルチェアーラグビーチーム「横濱義塾」(旧チーム名 横浜ホワイトハーツ)

代表: 吉村潤二

ダイバーシティ推進活動代表: 山内翔太

活動拠点: 障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール

設立: 2005年1月1日

信条: 「障害、健常の枠を飛び越え感動を伝えられるチーム」を信条に全国優勝を目指します。

「横濱義塾」は頸椎損傷などで四肢に障害を持った選手などが所属し、10代から50代までの幅広い年齢層の選手、スタッフで活動しています。

横濱義塾 HP <http://yokohamagijuku.hustle.ne.jp/> お問い合わせ: yokohamagi_juku@gmail.com

<YOKOHAMA TKM プロフィール>

名称: YOKOHAMA TKM

代表: 横川秀男

ダイバーシティ推進活動 事務局: 野毛伸子

所在地: 〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町 116

医療法人 横浜柏堤会本部 YOKOHAMA TKM 事務局

設立: 2011年8月8日

理念: YOKOHAMA TKM は、女子ラグビー日本代表選手の育成を目指すと共に、引退後のセカンドキャリアを視野に入れた支援体制を充実させ、医療法人として広く社会に貢献するための人材育成に力を注いでまいります。

ミッション: 医療法人として、「One for all, All for one」を実践し、明るく夢のある社会の実現へ向け、さらなる社会貢献を目指すことをここに宣言します！

YOKOHAMA TKM HP <http://www.tkm7.jp/> お問い合わせ: n_noge@tmg.or.jp (野毛伸子)

以上